

石心会グループ

社会医療法人財団 石心会

医療法人社団 東京石心会

医療法人社団 新東京石心会

社会福祉法人 石心福祉会

<http://www.sekishinkai.or.jp>

海燕

うみ

つばめ

石心会 BULLETIN 隔月刊

発行人：石井暎禧

編集人：辻田征男

発行：石心会法人事務局

〒212-0014 川崎市幸区大宮町 23 番地 5

コーラルビル

TEL 044-511-2266 (代) FAX 044-540-1135

グループの総力を挙げて 新・埼玉石心会病院を成功させよう

石井 暎禧

社会医療法人財団 石心会 理事長

新・埼玉石心会病院が目指すものは何か？

埼玉石心会病院は今から30年前の1987年、地元旧医療勢力の激烈な反対運動の中「石心会狭山病院」として産声を上げ、数年前に今回の移転を視野に入れて「埼玉石心会病院」と改名しました。今回の新築移転が建物の経年劣化と狭隘化を克服するために行うのは、5年前の川崎幸病院の新築移転と同じです。

しかし、移転は病院の単なる引っ越しではなく、目標とするものは石心会の二つの理念である「断らない医療」と「患者中心の医療」を理想的な形で実現するためです。

断らない医療の典型は救急医療ですが、新病院の場合は遠隔地（主に秩父地方）からの患者搬送を意識して、大型患者搬送ヘリが離着発できるヘリポートを設けました。これは、また首都圏直下型地震などの広域災害に威力を発揮できるし、万が一川崎市が被災した場合にも入間基地の航空自衛隊の協力を得て医療スタッフと医薬品を積んで

川崎幸病院の支援に向かうこともできます。

また、ER 総合診療センターと銘打った救急部門は救急専属医として、救急

指導医・総合内科指導医・整形外科専門医をそろえ、軽症から重症まで区別せず総合的に診療する北米型救急医療を目指し、かつ、その視線の先に救命救急センターを構想するものです。

新病院においてはこれまでになかった二つの医療センター（低侵襲脳神経センター・心臓血管センター）を設けます。これらについてはここでは多くは言及しませんが、その医療レベルは世界最先端の一流の医療を視野に入れ、全県下から患者さんが来るセンターを目指しています。

病床は、新しく101床が加わり450床となります。また、重症患者を収容するユニット系病室（重症室）が増え、看護要員を増員する必要が出てきました。



海燕 78 号 目次

グループの総力を挙げて

新・埼玉石心会病院を成功させよう 1

新・埼玉石心会病院建物が完成! 3

KAC(川崎大動脈センター)は川崎から世界へ... 6

学会発表一覧 8

人事ニュース 13

地域は早期のフルオープンを待っている

今、狭山市の住民でさえ入院医療を要する際に、狭山市内の病院に入院する割合は64%に過ぎません。現在、求められているものは、市民が安心してかかることができるハイレベルで温かい対応の病院です。新・埼玉石心会病院はこうした期待に応えるものとして建設しました。

従って、新病院はこうした地域の期待に応えるためには、ロケットスタート（平成30年度中に450床をフルオープン）をする必要がありますが、その目標を達成する一番の問題が看護師の人数にあることがわかってきました。

新・久喜総合病院におけるケーススタディ

広く知られていることですが、埼玉県における人口1,000人当たりの看護師数は全都道府県で最低です。

1位 高知県 人口1,000人当たり 18.46人

最下位 埼玉県 人口1,000人当たり 7.66人

ここで、平成28年4月から、埼玉県厚生連より事業譲渡を受けた 巨樹の会 新・久喜総合病院のケースを検討してみましょう。

巨樹の会は石心会とアライアンスを組むカマチグループの法人の一つで、首都圏に14病院を展開して



新・久喜総合病院

います。

埼玉県厚生連は、平成24年に300床の久喜総合病院を開院しましたが、赤字経営（年間10億円の赤字）が改善せず、資金繰りに支障をきたし、昨年（平成28年）4月に巨樹の会に売却しました。

巨樹の会では4月に譲渡を受けるや、すぐに九州にあるカマチグループの急性期5病院から人材派遣を行い（5月時点で80名、内看護師約40名）「断らない病院」を標榜し、2か月で黒字病院にしました。救急車の受け入れ数は倍増し（年間3,000台→6,600台）、埼玉県利根地方の救急医療事情を一変させました。

この原稿を書いている平成29年9月には、さらに派遣職員は増加し、職員総数600名中、派遣職員の総勢が200名（内看護師100名）となっています。これを見ても埼玉県では、必要な時期に必要な数の看護師を地元採用で確保するのが難しいことがわかります。巨樹の会では、このことから5年間、九州からの派遣を継続する方針であると聞いています。

神奈川から看護職員の派遣を決定

石心会ではこの経験にならない、神奈川県（主として川崎幸病院）から看護師を派遣することを決定しました。その規模はフルオープンの時期に合わせて50名以上を目標にします。

派遣する職員は、石心会スピリッツにあふれた職員を優先し、2年間を限度に法人として応援勤務手当をつけるつもりです。これもカマチグループ流を採用させてもらいました。

今回の派遣は、地元採用の職員で運営していけるようになるまで、一応5年間をめどに続けるつもりですが、長期的展望としては養成施設なども考慮する必要があるかもしれません。

石心会グループ 新時代へ 新・埼玉石心会病院建物が完成！



竣工なった新・埼玉石心会病院病院全景



正面にはスペインで育った樹齢約300年のオリーブが植えられました。縁石には、ロシアの文豪トルストイの言葉、「人生における唯一の意義は人のために生きること」と、彫られています。

埼玉石心会病院の建築工事が完了し、その竣工式が8月21日に関係者を集めて執り行われました。引き渡し後、医療機器などが備え付けられ11月1日に移転・オープン予定です。

竣工式式典には、石井暎禧・社会医療法人財団石心会理事長、辻田征男・同専務理事／事務局長、志田晴彦・埼玉石心会病院院長、持田和夫・埼玉地区統括事務部長、石原正一郎・埼玉石心会病院低侵襲脳神経センター長、小柳俊哉・同院心臓血管センター長、福島俊江・同院副院長はじめ石心会グループ13人、小谷野剛・狭山市長はじめ地元関係者14人、金融、設計・施工関係者など約70人が出席して執り行われました。

埼玉県に未来を見据えた最高水準の医療を

挨拶に立った石井理事長は、

「30年前、この地に石心会狭山病院という名称で開院しました。当時の水準からすれば、それまで地域になかった設備と医療水準を地域住民の皆さんに提供できたと自負しております。しかし、いかんせん医療の進歩は日進月歩を続け、30年経ちますと様々

不満な点が出てきました。

地域の皆さんに、最新かつ最高の水準の医療を提供するには、全面的に設備を更新するしか方法がないとの思いに至り、病院の新築移転に踏み切りました。

最高レベルの医療を提供することによって、地域に根ざしつつも、埼玉県全域から患者さんが来ていただける病院を目指しています。

その意図を明確にするため、名称も狭山病院から埼玉石心会病院という今日の名称に変更いたしました。



さらに、現在の慢性的な病床不足を改善するため、埼玉県に申請して101ベッドの増床を実現しました。

新病院は現在の病院よりも一回り大きい450ベッドの病院として出発します。

次に、私どもは新病院の発足と同時に2つの医療センターを発足させます。それは低侵襲脳神経セン



ター及び心臓血管センターです。緊急に治療しなくてはならない脳や心臓の疾患に対して、地域で最高水準の医療を行い、最終責任を果たします。この2つの医療センターでは、国内はもちろん世界を見据えた水準の医療を提供することを目的としております。10月の内覧会の時点には皆さんにご披露いたしますが、特に低侵襲脳神経センターの設備においては世界唯一、最高水準のハイブリッド手術室を装備いたしました。

また石心会の理念である『断らない医療』を実現するため、救急医療に関する設備も強化しました。

たとえ、入院ベッドが一杯であっても救急の患者さんを翌日まで経過観察できるベッドを現在の約2倍の25ベッドを設備しました。このベッドはホールディングベッドと呼んでおります。また、広域の重症患者の搬送に備えて大型ヘリが離発着できるヘリポートも設備いたしました。

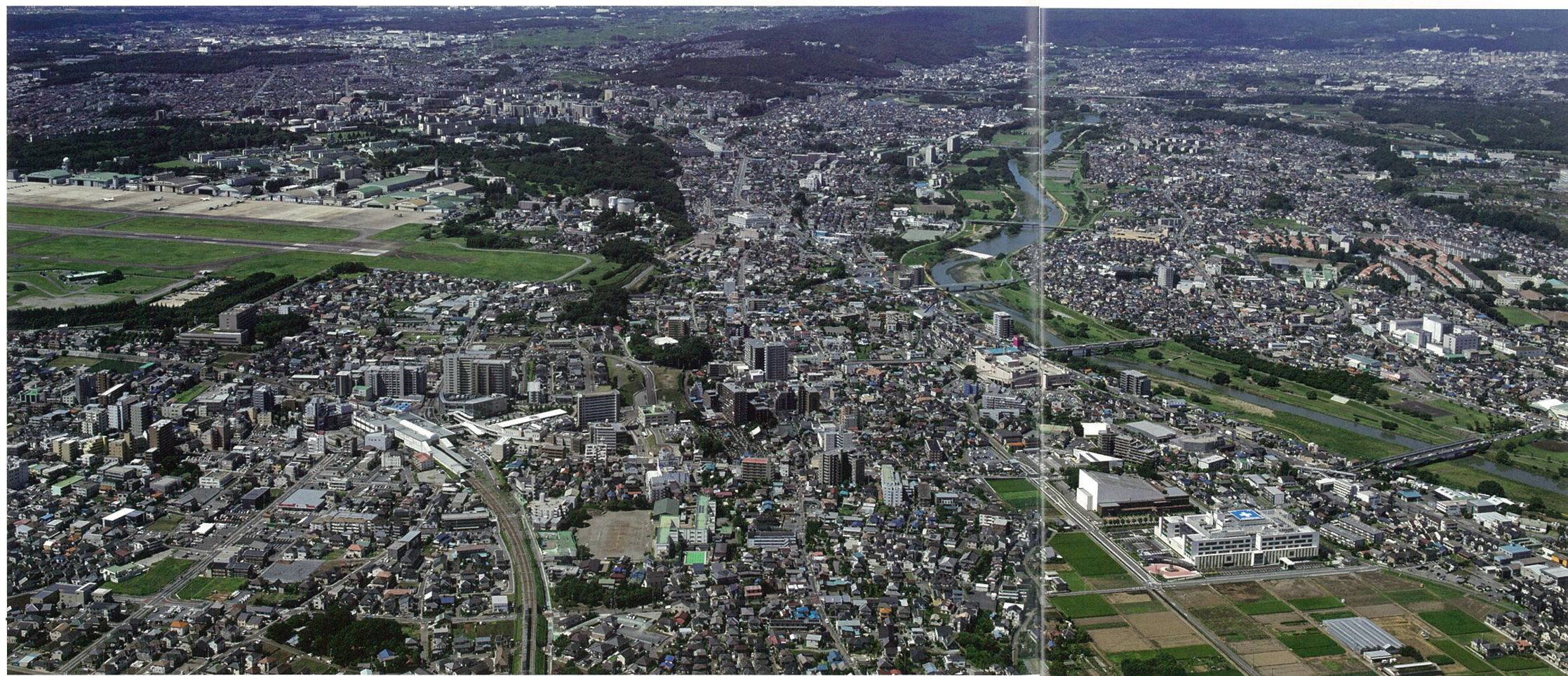
「このように新病院は、現在の埼玉石心会病院の単なる移転ではなく、その質においてさらなる高みを目指した病院です」

と、話しました。

理事長の挨拶に続いて、主な皆さんが壇上に上がり、4つの樽酒の鏡割りが行われました。



新病院の開院式、内覧会は移転、オープン前の10月14・15日に催されます。



神事



鏡割り



石井理事長の挨拶



KAC(川崎大動脈センター)は 川崎から世界へ

編集部

川崎幸病院は7月22日、台湾台中市にある台中榮民総医院 (Taichung Veterans General Hospital) と国際交流協定(MOU)を締結しました。

今回の協定締結は、昨年12月に日本での学会で台湾榮民総医院の心臓血管外科医がKACの発表に感銘を受けたことをきっかけにして、その報告を受けた榮民総医院の院長からKACへのMOUの申し出がありました。協定は両院がヘルスケアに関する協力を促進するとともに、専門的能力を高めることを目的にしたものです。

招待された笹栗志朗・川崎幸病院院長、山本晋・KACセンター長ら一行が訪台し、到着後国賓待遇の熱烈な歓迎を受けた後、滞りなくMOUの調印を終え帰国しました。

両病院は今後、相互に専門職や研究者、研修医などの交流や訪問を行うことにしています。



MOU調印を終えた許・TCVGH院長(右)と笹栗・川崎幸病院院長

注：台湾榮中総医院 (Taichung Veterans General Hospital) TCVGH：病床数 1,534、医師 725 名、看護師 1910 名、コメディカル 681 名、事務系スタッフ 357 名を有する台湾有数の総合病院として有名であり、手術室数は 40 で年間手術件数約 4 万件と特筆すべきアクティビティを誇る。

川崎大動脈センターの台中訪問

島村淳一

川崎大動脈センター医師

2017年7月20日から22日にわたり台湾台中で開催された「2017 Joint of cardiovascular surgery conference TCVGH and KAC」に川崎大動脈センター（以下KAC）が招待され参加しましたので報告します。

今回の訪問は、台中榮民総医院 (Taichung Veterans General Hospital：以下TCVGH) の心臓血管外科医であるDr.Tsai Chunglinが、2015年の日本血管外科学会でKACの診療実績に感銘を受けたのがきっかけです。その後TCVGHスタッフがKACでの短期滞在を経て、病院間連携を結ぶことになりました。

そのMOU*締結式に医師：笹栗志朗・川崎幸病院院長、山本晋KACセンター長、中川達生、藤川拓也（香港留学中）島村淳一、看護師：田中亜由美（ACU科長）、岡崎幸恵（7階病棟科長）、リハビリ：浅田浩明、

CE科：八馬拓也の計9名が台湾に招待されました。

滞在日程

7月20日：朝7時川崎駅に集合、成田空港より台湾桃園空港に。空港から車で約2時間、滞在先Windsor Hotelに移動。

夕方より病院スタッフと会食。会食後、翌日のカンファレンスの予行が夜を徹して行われた。

7月21日：午前はTCVGHにてMOU締結式、院内ツアー。午後はJoint of cardiovascular surgery conference。KAC参加者全員が計9演題を全て英語で発表。カンファレンス後に会食、夜市ツアーに参加。

7月22日：帰国。



KACとTCVGHのスタッフ

今回の招待が医師だけでなく看護師、リハビリテーションスタッフ、臨床工学技士が海外一流施設からのものであり、その意義を改めて考察します。

KACは2003年設立以来、大動脈疾患治療において日本一を目標に診療を積み重ねてきました。大動脈疾患に常に対応するためNo refusal policyを掲げ、24時間365日体制で診療にあたっています。

初めから現在のような診療体制が整備されていたわけではありません。症例数の蓄積とともに、スタッフが増え、診療体制が充実したことにより治療成績が向上しました。そして国内外主要学会での発表が注目を集めるようになり、国内外を問わず見学生、留学生が頻繁にKACを訪れるようになりました。

KACの日常診療においては、各メンバーが規律、ルーチンを守り、ミッションを正確に遂行します。そして一流のクオリティーを目指す継続的な努力、組織貢献を怠らず、自らの任務に誇りと責任を持つことを着実に実践しています。

TCVGHのスタッフも述べていますが、診療実績だけでなく、設立以来比較的短期間で日本を代表する大動脈センターへ発展を遂げたプロセスや、その根底にある職務哲学が評価され今回の招待につながったと思われます。



Dr.Tsai（左）と筆者の島村医師

* Memorandum of Understanding (MOU) とは医師、看護師、コメディカルを含めたスタッフの交流や臨床・研究面での協力を含む二病院間の相互理解及び友好関係を発展させるために締結される。

今後も国際的に模範となる大動脈センターとして、治療成績を向上させ続けること、主要国際学会を通じて世界に診療実績を発信し続ける必要があることは言うまでもありません。このサイクルがKACの立ち位置を明確にし、アイデンティティーを確立することにつながるからです。次に目指すのは世界一の大動脈センターです。

このような職業倫理の実践や活発な学術活動は医師だけのものではありません。今回看護師、PT、CEが招待され講演を行ったように、当院コメディカルも他施設から注目される存在です。それを率直に自覚し行動すべきでしょう。

今回の訪問で、KACそして川崎幸病院が職員全員の誇りとなり、他施設から敬意を抱かれる真の一流施設になるきっかけになることを願っています。

学会発表一覧（2017.5～2017.8）

◆川崎幸病院

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
長谷総一郎	大動脈センター	2017.5.19	第35回日本 Mefallic Stents&Grafts 研究会	腰動脈瘤破裂に対し TAE とステントグラフト併用が有用であった1例	岡山	一般口演
長谷総一郎	大動脈センター	2017.7.29	第21回大動脈ステントグラフト研究会	AFX デプロイメント時に Endo-Knot をきたした1例	奈良	一般口演
永尾征弥	脳神経外科	2017.6.2～3	第4回日本心臓血管脳卒中学会学術集会	当科における内頸動脈解離症例の経験について	福岡	ポスター
壺井祥史	脳神経外科	2017.6.2～3	第4回日本心臓血管脳卒中学会学術集会	Persistent proatlantal artery 起始部狭窄に対してステント留置術を施行した1例	福岡	ポスター
太田 竜	外科	2017.6.28～30	第42回日本外科系連合学会学術集会	当院における特定行為看護師研修の受け入れと初期臨床研修医との関わり	徳島	一般演題
井上貴博	外科	2017.6.28～30	第42回日本外科系連合学会学術集会	胃切除結腸後 Roux-en-Y 再建後に生じた輸入脚症候を伴う内ヘルニアの2例	徳島	ポスター発表
太田 竜	外科	2017.7.6～7	第87回大腸癌研究会	低侵襲を目指した当科における下部直腸癌治療の変遷と方向性	三重	ポスター発表
太田 竜	外科	2017.7.20	第72回日本消化器外科学会総会	当科における局所進行下部直腸癌に対する治療戦略とその成績	石川	一般演題
原 義明	外科	2017.7.21	第72回日本消化器外科学会総会	小腸癌切除例の治療成績	石川	一般演題
成田和広	外科	2017.7.22	第72回日本消化器外科学会総会	大腸癌イレウスに対する治療戦略	石川	要望演題
太田 竜	外科	2017.8.4～5	第23回日本家族性腫瘍学会学術集会	日本国籍非保有者家族におけるリンチ症候群の治療経験	北海道	ポスター発表
太田 竜	外科	2017.8.18	第49回日本医学教育学会大会	都市型急性期病院における遠隔地・離島地域医療研修の導入	北海道	ポスター発表
大前芳男	消化器内科	2017.5.11～13	日本消化器内視鏡学会総会	80歳以上の高齢者における内視鏡的乳頭ラージバルーン拡張術（EPLBD）の検討	大阪	口演
藤原裕之	消化器内科	2017.5.11～13	日本消化器内視鏡学会総会	当院における悪性狭窄に対するステント留置の現状	大阪	ポスター
森重健二郎	消化器内科	2017.5.11～13	日本消化器内視鏡学会総会	当院における高齢者に対する胃 ESD の治療成績と安全性の検討	大阪	ポスター
加藤亜唯	腎臓内科	2017.6.16	第62回日本透析医学会学術集会・総会	血液透析患者に発症した劇症型 G 群溶血性連鎖球菌感染症の一例	横浜	ポスター
田中詩織	腎臓内科	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	肝硬変による腹水合併維持透析患者に対し腹水濃縮再静注法（CART）を併用することにより透析困難症を脱し得た一例	横浜	口演
齋藤佳範	腎臓内科	2017.6.18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	著明な高 K 血症をきたしたが、急性血液浄化法を始めとした諸治療により救命し得た慢性腎臓病患者の一例	横浜	ポスター
鈴木健志	腎臓内科	2017.6.18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	透析患者における特発性腎被膜下出血の3例	横浜	ポスター

【地方学会】

長崎弘和	脳神経外科	2017.5.29	第59回神奈川脳血管内手術懇話会プログラム	経上腕動脈アプローチで5MAXにより血栓回収術を行った脳底動脈閉塞症の1例	新横浜	講演
長山剛太	脳神経外科	2017.6.10	青葉塾	血栓回収中に penumbra system が破損した1例	横浜	講演
坪 宏一	大動脈センター	2017.7.29	第1回日本集中治療医学会関東甲信越支部学術集会	急性大動脈解離に対する集学的な治療・内科的な立場からみた治療指針	大宮	シンポジウム

【講演会】

神林智作	脳神経外科	2017.7.27	川崎二次予防地域連携講演会	頭蓋内出血の治療と抗凝固薬そして中和剤	東京	講演
------	-------	-----------	---------------	---------------------	----	----

薬剤科

昆 真生	薬剤科	2017.8.26～27	日本病院薬剤師会 関東ブロック 第47回学術大会	薬剤師によるカテーテル前の内服確認が有効であった症例	群馬県	ポスター発表
------	-----	--------------	--------------------------	----------------------------	-----	--------

看護部

片山亜由子	透析室	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	関連施設間における腹膜透析患者のサポート強化のために	横浜	口演
山田江梨香	8北病棟	2017.6.16～18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	腹膜透析導入決定後の患者拒絶行動に対する看護	神奈川県	一般口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
古川和美	透析室	2017.6.16～18	第 62 回日本透析医学会 学術集会・総会	入院血液透析患者に対するフットケアの実態調査とその後の取り組み	神奈川県	一般口演
長谷川麻美	透析室	2017.5.26～27	日本下肢救済・足病学会 第 9 回学術集会	下肢救済活動としての透析室看護師による病棟ラウンドの試み	福岡県	一般口演
山田江梨香	8 階北病棟	2017.5.21	Exit site care Seminar	出口ケアの実際	神奈川	口演
今井明子	入退院支援科	2017.7.20	鶴見大学歯学部学術講演会歯学部高齢者歯科学講座	入院から退院 在宅復帰まで	神奈川	口演
竹内由紀	摂食嚥下障害看護 CN	2017.6.29	鶴見大学歯学部学術講演会歯学部高齢者歯科学講座	摂食嚥下障害看護認定看護師の日常	神奈川	口演
佐藤久美子	看護部	2017.7.31	新潟県看護協会看護学会教育	看護補助者の活用と推進	新潟	口演

コメディカル部

長谷川高志	CE 課	2017.6.18	第 62 回日本透析医学会学術集会・総会	CRRT 施行時のマンニトールが及ぼす影響について	横浜	口演
浅田浩明	リハビリテーション科	2017.7.15～16	第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	COPD が弓部大動脈人工血管置換術の術後経過に及ぼす影響	岐阜	ポスター
古田佳祐	リハビリテーション科	2017.7.15～16	第 23 回日本心臓リハビリテーション学会学術集会	弓部大動脈人工血管置換術後のせん妄とリハビリテーション経過に関する検討	岐阜	口述
長澤洋一	CE 科	2017.5.20	第 27 回日本臨床工学会	下行大動脈瘤手術において足背動脈圧モニターが有効であった症例	青森県	ポスター発表
八馬 豊	CE 科	2017.5.20	第 27 回日本臨床工学会	David 手術に伴う冠動脈再建にて LMT の解離を発症し緊急 PCI となった一症例	青森県	ポスター発表
山田剛士	CE 科	2017.5.20	第 27 回日本臨床工学会	当院における遠隔モニタリング業務について	青森県	シンポジウム パネラー (口演)
山田剛士	CE 科	2017.5.28	神奈川県技士会 勉強会 ベーシックセミナー	血圧と心臓の目からうろこの関係 ～循環血行動態を理解する～	神奈川県	勉強会講師 (講演)
長谷川高志	CE 科	2017.6.16	第 62 回日本透析医学会学術集会	CRRT 施行時のマンニトールが及ぼす影響について	神奈川県	口演発表
長澤洋一	CE 科	2017.7.8	第 36 回日本体外循環技術医学会 東北地方大会	川崎幸病院 大動脈センターと体外循環業務について	宮城県	特別講演

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
岡田清己、 一瀬岳人、 蜂矢隆彦、 田中良明*、 高橋悟*	*放射線治療科	泌尿器外科 30(5)::581-588, 2017	連載: 泌尿器科学を築いたひとりと、第12章、古典的泌尿器放射線学の推移	雑誌: 総説

看護部

中屋政人	ER	メディカ出版 ナーシングビジネス	目指せマネジメント力向上: プレゼンテーション活用	雑誌
佐藤久美子	看護部	日総研 看護部長通信	師長力 UP のための管理者研修の仕掛け方 連載	雑誌

◆川崎幸クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
安島美保	医局 (糖尿病)	2017.5.18～19	第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会	「糖尿病患者の CAVI、頸動脈 IC の経過」	名古屋	口演
森上善史	医局 (糖尿病)	2017.5.18～19	第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会	「当院インスリン治療 II 型糖尿病患者に対する SGLT2 阻害薬追加によるインスリン減量効果の検討」	名古屋	ポスター
九島健二	医局 (内科)	2017.5.18～19	第 60 回日本糖尿病学会年次学術集会	「DPP-4 阻害薬の有用性について」	名古屋	ポスター

看護部

和田真知子	看護科	2017.8.31～9.1	第 48 回日本看護学会 慢性期看護学術集会	骨粗鬆症テリパラチド酢酸塩注射治療を決定するまでの患者の思い	神戸	口演
-------	-----	---------------	------------------------	--------------------------------	----	----

◆第二川崎幸クリニック

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
小峯千明	医療相談室	2017.6.23～6.24	第22回緩和医療学術大会	化学療法前のオリエンテーションを実施して ～MSWの立場からみえてきたもの～	横浜	口頭発表
木村芙英	乳腺外来	2017.7.13～7.15	第25回日本乳癌学会	Doppler ElastographyによるFLRのカットオフ値	福岡	ポスター

【地方学会】

木村芙英	乳腺外来	2017.7.22	Tokyo Breast Cancer Symposium 2017	症例発表 Cowden 病症例	東京	口頭発表
------	------	-----------	------------------------------------	-----------------	----	------

論文・教科書執筆等

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
木村芙英	乳腺外来	Surgical Case Reports	Hereditary breast cancer associated with Cowden syndrome-related PTEN mutation with Lhermitte-Duclos disease	雑誌

◆川崎クリニック

学会発表

診療部

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
穴戸寛治	腎臓内科・透析	2017.6.16	第62回日本透析医学会学術集会・総会	<ランチョンセミナー> PTHを下げる新しい根拠と活性型ビタミンDの役割	横浜	座長
穴戸寛治	腎臓内科・透析	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	<ワークショップ> I-HDFの可能性を探る	横浜	座長
穴戸寛治	腎臓内科・透析	2017.6.18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	<モーニングセミナー> グローバルガイドラインと一線を画した日本CKD-MBDガイドラインの功 ～シナカルセトの役割～	横浜	座長
穴戸寛治	腎臓内科・透析	2017.6.18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	<一般口演> CVD／動脈硬化2	横浜	座長
穴戸寛治	腎臓内科・透析	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	Restless legs syndrome (RLS)に対する効果とI-HDFの臨床的課題	横浜	講演
中島 豊	腎臓内科・透析	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	<一般ポスター> アフェレーシス／PE, DFPP2	横浜	座長
中島 豊	腎臓内科・透析	2017.6.18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	<一般口演> CKD-MBD／薬剤5	横浜	座長
熊田千晶	腎臓内科・透析	2017.6.16	第62回日本透析医学会学術集会・総会	維持透析患者の骨格筋量と骨密度、心血管病変の関連	横浜	講演

看護部

由井淑子	看護科	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	当院における高リン血症治療薬の内服管理の現状と今後の課題	横浜	講演
------	-----	-----------	--------------------	------------------------------	----	----

コメディカル部

中村賢洋	透析技術課	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	後希釈オンラインHDF+I-HDF (Post-I)の臨床効果	横浜	講演
中山 彩	薬剤科	2017.6.17	第62回日本透析医学会学術集会・総会	服薬管理が難しい患者の服薬調整～調剤薬局と連携して～	横浜	ポスター

◆さいわい鹿島田クリニック

学会発表

看護部

小野真紀子	看護部	2017.6.16～18	第62回日本透析医学会学術集会	チーム医療により傷治癒となった1例 ～下肢救済を図る看護師連携の会 (JOYFUL) での関わり～	横浜	一般口演
-------	-----	--------------	-----------------	--	----	------

コメディカル部

伊澤 潤	透析技術課	2017.6.16～18	第62回日本透析医学会学術集会	O-HDFにI-HDF併用時の溶質除去効果	横浜	ポスター
------	-------	--------------	-----------------	-----------------------	----	------

◆アルファメディック・クリニック

学会発表

【全国学会】

野崎浩二	健診	2017.8.24	第58回 日本人間ドック学会 学術大会	ドックにて発見し得たマンモグラフィ陰性 DCIS 症例の検討	さいたま市	一般口演
------	----	-----------	---------------------	--------------------------------	-------	------

◆川崎健診クリニック

学会発表

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
児島亜紀	看護科	2017.8.24	第 58 回 日本人間ドック学会 学術大会	川崎市乳がん検診、視触診廃止に対する受診者の意識調査	さいたま市	一般口演

◆在宅部門川崎地区

学会発表

【講演】

小島ゆかり	さいわい訪問看護ステーション	2017.6.24	川崎呼吸ケア・リハビリテーション研究会	摂食・嚥下リハビリテーション ～最後まで食べ続けることを支える～	川崎	シンポジウム
渡辺恵里	新川崎居宅介護支援センター	2017.6.24	川崎呼吸ケア・リハビリテーション研究会	摂食・嚥下リハビリテーション ～最後まで食べ続けることを支える～	川崎	シンポジウム

◆埼玉石心会病院

学会発表

診療部

【国際学会】

山根正久	循環器内科	2017.5.16	EURO PCR 2017	Learning Objectives	パリ	講演
山根正久	循環器内科	2017.6.8	CTO Fundamentals	CTO Live case 8 Presentations	イギリス	オペレーター、レクチャー
山根正久	循環器内科	2017.6.11	Indo Japan CTO Club	CTO Live case 6 Presentations	インド	オペレーター、レクチャー
山根正久	循環器内科	2017.6.24	CTO Summit	IVUS Guided, how to Judge antegrade wire and retrograde wire's position	中国	講演
山根正久	循環器内科	2017.7.17	Hartzler Interventional Cardiology Symposium	A Patient with CTO and Calcific Multiple Vessel Disease	ハワイ	講演
山根正久	循環器内科	2017.7.17	Hartzler Interventional Cardiology Symposium	Unique Complications and Their Management in CTO PCI	ハワイ	講演
長谷川耕太郎	循環器内科	2017.5.16～19	EURO PCR 2017	Influence of using guide extension catheter on the total amount of contrast agent under PCI with OCT	フランス	ポスター
芝崎太郎	循環器内科	2017.5.16～19	EURO PCR 2017	A successful case of in-stent restenotic lesions in left main treated with the perfusion balloon and two DEBs.	フランス	ポスター
石原正一郎	脳神経外科	2017.6.11～17	LINNC2017	Vessels wall : what can we see today, what does it mean, what is expected tomorrow?	Paris	invited lecture
石原正一郎	脳神経外科	2017.6.11～17	LINNC2017	MCA aneurysm treated with Atlas stent and coil	Paris	invited lecture

【全国学会】

元 志宏	内科	2017.5.26～28	第 60 回日本腎臓学会学術総会	SYNAPSE VINVENT により測定された腎容積と計算式により測定された腎容積の比較	仙台	ポスター
元 志宏	内科	2017.6.16～18	第 62 回日本透析医学会学術集会・総会	血液透析患者でのリナグリブチンからアナグリブチンへの切り替えの有用性	横浜	ポスター
根田 保	内科	2017.5.18～20	第 60 回日本糖尿病学会学術集会	2 型糖尿病患者に対するエンバグリフロジン投与の有用性の検討	名古屋	一般口演
大和田里奈	内科	2017.5.18～20	第 60 回日本糖尿病学会学術集会	糖尿病ケトアシドーシス (DKA) を繰り返す患者の検討	名古屋	一般口演
長谷川耕太郎	循環器内科	2017.7.6～8	第26回日本心血管インターベンション治療学会	側枝に対する PCI 治療、NSE と POBA の FFR を用いた比較	京都	一般口演
荒巻和彦	循環器内科	2017.7.5～7	第26回日本心血管インターベンション治療学会	第一世代薬剤溶出性ステント植込み後の長期安全性に対する懸念は持続するのか？第二世代薬剤溶出性ステントとの比較	京都	一般口演
高梨秀一郎	外科	2017.7.20～22	第 72 回日本消化器外科学会総会	当院における急性胆嚢炎に対する治療方針別の比較	金沢	一般口演
児玉ひとみ	乳腺内分泌外科	2017.5.18～19	第 29 回日本内分泌外科学会総会	術中神経モニタリング (NIM) により同定し得た異所性右鎖骨下動脈に伴う非反回下咽頭神経 (NRILN) の 2 例	神戸	ポスター
加藤泰之	心臓血管外科	2017.7.13～14	第 100 回日本冠動脈外科学会学術大会	LAD びまん性病変に対する ITA を用いた onlay patch grafting の成績	大阪	ワークショップ
工藤 聡	形成外科	2017.7.6～7	第 9 回日本創傷外科学会総会・学術集会	上下口唇再建を要した劇症型肺炎球菌感染症の一例	岐阜	ポスター
山崎美保子	放射線科	2017.5.12	第 328 回 BODY-CT 研究会	49 歳女性 左卵巣腫瘍の精査	東京	一般口演

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
山崎美保子	放射線科	2017.6.30～7.1	第31回日本腹部放射線学会	G-CSF 産生胆管癌の1例	旭川	ポスター
肥塚幸太郎	麻酔科	2017.6.8	第64回日本麻酔科学会学術集会	食道がん術後心房細動の発症とイオン化マグネシウム濃度との関係	神戸	ポスター
又吉重彰	麻酔科	2017.6.9	第64回日本麻酔科学会学術集会	当院の経食道心エコー（TEE）による上部消化管合併症についての検討	神戸	ポスター
濱口裕江	産業医	2017.5.11～13	第90回日本産業衛生学会	医療機関でのストレスチェック取り組み1	東京	一般口演

【地方学会】

近藤竜史	脳神経外科	2017.6.17	第14回日本脳神経血管内治療学会関東地方会	市販後調査に見るSolitaireのリアル-再開通率、転帰、安全性-	千代田区	講演
木村一史	放射線科	2017.7.8	第29回関東IVR研究会	TACE後に感染を合併し右胸腔内に穿破したHCCの一例	東京	ポスター

【講演】

長谷川耕太郎	循環器内科	2017.6.2～4	I POP live 2017	Focus Live Demonstration(3)	和歌山	コメンテーター
石原正一郎	脳神経外科	2017.6.30	バイエル薬品株式会社社内講演	抗凝固療法と脳血管内治療について	川越	講演
石原正一郎	脳神経外科	2017.7.7	武田薬品工業株式会社医学教育会	低侵襲治療における脳神経外科疾患の現状と治療方法に関して	川越	講演
近藤竜史	脳神経外科	2017.6.24	東京葛飾スカイツリーセミナー 2017	低侵襲治療時代の切り札 - 脳血管内治療の最新事情：血行再建術から脳動脈瘤治療まで -	葛飾区	特別講演
近藤竜史	脳神経外科	2017.7.30	第3回軽井沢脳血管内治療セミナー	急性期脳梗塞に対する PTA/ スtent留置術	軽井沢	教育講演
近藤竜史	脳神経外科	2017.7.30	第3回軽井沢脳血管内治療セミナー	待機的头蓋内血管形成術：Stent留置術	軽井沢	教育講演

看護部

森崎紀代美	看護部	2017.6.2～3	第26回日本創傷・オストミー・失禁管理学会学術集会	皮膚・排泄ケア認定看護師による退院後訪問指導	幕張	口演
小林比呂子	看護部	2017.7.7～8	第19回日本医療マネジメント学会学術集会	看護管理者が行う退院支援～DPCに着目して～	仙台	示説
高萩志緒	看護部	2017.7.7～8	第19回日本医療マネジメント学会学術集会	点滴自己抜針分析から見えてきたせん妄チーム活動の課題	仙台	示説
六反勝美	看護部	2017.8.19～20	第21回日本看護管理学会学術集会	緩和ケアリンクナースにとって意義あるカンファレンスの在り方	横浜	示説

薬剤室

卯月博和	薬剤室	2017.8.26～27	日本病院薬剤師会関東ブロック第47回学術大会	当院におけるPBPM開始後の現状と有用性の評価	前橋	ポスター
------	-----	--------------	------------------------	-------------------------	----	------

コメディカル部

矢島春花	生理検査室	2017.8.25	第58回日本人間ドック学会学術集会	腹部超音波検査での肝外胆管拡張症例についての検討	さいたま市	一般口演
里村知克	CE室	2017.7.6～8	第26回日本心臓血管インターベンション治療学会(CVIT2017)	冠動脈貫通カテーテル併用によるOCT観察の有用性について	京都	ポスター
安藤恭代	検体検査室	2017.6.16～18	第66回日本医学検査学会	患者を中心とした病院全体のチーム医療を行うための現状分析と方向性について	千葉	一般口演
安藤恭代	検体検査室	2017.6.23～24	第65回日本輸血・細胞治療学会	血液製剤の有効利用を目的とした心臓血管外科術後カンファレンス出席による効果～Face to Faceのコミュニケーション～	千葉	ポスター
安藤恭代	検体検査室	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術集会	TG400mg/dL未満におけるLDL直接法とFriedewald式で算出したLDL値との相関と差	さいたま市	一般口演
宮川直輝	検体検査室	2017.6.16～18	第66回日本医学検査学会	R-CPC (Reversed Clinico-Pathological Conference)の実践：2	千葉	ポスター

事務部

坂本真里	ソーシャルワーカー室	2017.5.28	埼玉県医療社会事業協会 第23回学会・全体研修会	ソーシャルワーカーが行う退院支援についていま一度考える	埼玉	口演
------	------------	-----------	--------------------------	-----------------------------	----	----

論文・教科書執筆等

診療部

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
Hagiwara A Yamazaki M Onoda N	放射線科 内科	Journal of Neuroradiology (2017年8月号)	Crown abnormality in osmotic demyelination syndrome	雑誌（電子出版）

◆さやま総合クリニック

学会発表

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
菅野壮太郎	外科	2017.7.7～7.8	第19回日本医療マネジメント学会学術総会	超音波検査技師の必要度・技量度	仙台	一般口演
菅野壮太郎	外科	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	腹部超音波検査で発見された膵嚢胞性病変108例の追跡調査結果	さいたま市	一般口演
大塚博紀	健診センター	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	人間ドック開始直前に健診施設内で発症した急性冠症候群の1例	さいたま市	一般口演
根上昌子	健診センター	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	人間ドックの次回利用意向に影響する因子は改善されたか？	さいたま市	一般口演
根上昌子	健診センター	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	人間ドックの腹部超音波検査にて発見された腹腔内リンパ節腫脹の転帰	さいたま市	一般口演
水島ゆかり	外来	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	精検受診再喚起をハガキからピンク紙に変更したことによる精検受診率向上の効果	さいたま市	一般口演
小谷野香	放射線室	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	マンモグラフィで高濃度乳房であり乳房超音波検査も同時に実施した70例についての検討	さいたま市	一般口演
大貫裕香	生理検査室	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	人間ドック健診心電図におけるT波変化とその背景	さいたま市	一般口演
小林保彦	内視鏡室	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	ヘリコバクターピロリ菌除菌前後での上部消化管内視鏡所見の変化	さいたま市	一般口演
清水真実	健診課	2017.8.24～25	第58回日本人間ドック学会学術大会	人間ドック健診の受診者は待ち時間によどのような映像や雑誌のコンテンツを希望するか	さいたま市	一般口演

【講演】

大塚博紀	健診センター	2017.8.24	第58回日本人間ドック学会学術大会	ランチョンセミナー6 「胃癌リスク評価の現状とリスク 検診の課題」	さいたま市	座長
大塚博紀	健診センター	2017.8.25	第58回日本人間ドック学会学術大会	一般演題（ポスター発表） 「セッション20 システムサービス②」	さいたま市	座長

◆さやま腎クリニック

学会発表

【講演】

池田直史	人工透析内科	2017.5.16	所沢市医師会学術講演会	蘇生不要指示のための倫理とは	所沢	講演
座長：池田直史	人工透析内科	2017.6.18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	一般演題 その他合併症22	横浜市	ポスター
座長：池田直史	人工透析内科	2017.7.21	埼玉西武CKD-MBD研究会	透析・腎疾患領域の最新話題6選 ー臨床、基礎、ニッチな研究織り交ぜてー	狭山	講演
池田直史	人工透析内科	2017.8.30	川越市薬剤師会研究会	CKDの診断と治療	川越	講演
座長：池田直史	人工透析内科	2017.8.31	高尿酸血症カレントセミナー	心血管疾患・腎障害のリスクとしての高尿酸血症	所沢	講演
岩澤文子	看護科	2017.6.16～18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	多発性嚢胞腎患者の意識調査	横浜市	一般口演
長谷部裕之	CE室	2017.6.16～18	第62回日本透析医学会学術集会・総会	過酢酸系除菌洗浄剤ステラケアの使用評価	横浜	ポスター
沖田紀之	CE室	2017.7.30	第8回埼玉アクセス研究会学術集会	当院での臨床工学技士におけるVA管理の現状	横浜市	一般口演

論文・教科書執筆等

発表者	部署	雑誌名	タイトル	分類
池田直史	人工透析内科	ラジオ日本（1422kHz）『21世紀の医療と介護をみつめて』メインパーソナリティー	毎週金曜日AM5:10～5:20放送	ラジオ番組

◆いきいき訪問看護ステーション鵜ノ木

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
木村壮介	いきいき訪問看護ステーション鵜ノ木	2017.6.24	CDEがこれからの介護-在宅医療-を学ぶ	「在宅医療・介護現場における私の役割」～理学療法士の立場より～	東京	口演、シンポ

◆昭島腎クリニック

学会発表

【全国学会】

発表者	部署	期間	学会名	演題名	開催地	発表形態
栗本義直	診療部	2017.6.16～18	日本透析医学会学術集会・総会	透析モニターHD02導入後のPTA適応の検討	パシフィコ横浜	口演
萩原 篤	透析技術課	2017.6.16～18	日本透析医学会学術集会・総会	HD02モニターにて再循環を認めたバスキュラアクセスの特徴	パシフィコ横浜	口演
齊藤まさ子	事務課	2017.6.16～18	日本透析医学会学術集会・総会	高齢透析患者の通院支援と連携	パシフィコ横浜	ポスター

◆新緑脳神経外科

学会発表

【全国学会】

落合亮輔	訪問リハビリテーション課	2017.6.3	第10回日本訪問リハビリテーション協会学術大会	訪問リハビリテーション報告書を通じた連携 ～介護支援専門員へのアンケート調査結果から～	北海道	ポスター
------	--------------	----------	-------------------------	---	-----	------

【講演】

田口純一	検査・放射線科	2017.5.20	神奈川MAGNETOM研究会	NATIVE SPACE -基礎編-	神奈川	講演
菊池千絵	検査・放射線科	2017.6.24	東京MAGNETOM研究会	Proton MRS 撮影の工夫と臨床例	東京	講演